

東京都病院協会 会報

東京都病院協会
LTD制度・医療共済制度
引受保険会社



東京海上日動

2022年(令和4年)11月28日

第307号

毎月1回 定価200円(会員購読料は会費に含む)

発行所：一般社団法人東京都病院協会／発行人：猪口正孝 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館404号室
TEL：03-5217-0896 / FAX：03-5217-0898 / URL：https://tha.or.jp / E-mail：thaoffice@tha.or.jp

特別寄稿

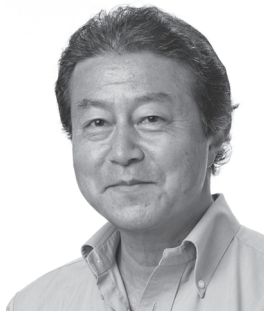
人の生き方と地球環境は相関する — 医療から環境問題を発信する意義 —

東京都病院協会名誉会長
社会医療法人河北医療財団理事長
河北 博文

本会報10月号でも取り上げたSDGs(持続可能な開発目標)などにも盛り込まれている、地球環境問題。医療人がこの問題に取り組んでいくことは、人間がその人らしく生き、そして死んでいくことを支える医療の提供に他ならないと、河北博文・東京都病院協会名誉会長は強調する。医療から環境問題を発信する意義について、解説いただいた。

はじめに「憲法と財政」

本稿では、SDGs(持続可能な開発目標)やESG(Environment:環境、Social:社会、Governance:ガバナンス)などを踏まえ、医療機関から環境問題について発信する意義について、私が理事長を務める社会医療法人河北医療財団の活動も交えてお話しさせていただきます。



河北 博文

SDGですが、これらが持つ意味を理解するうえで、憲法や財政について改めて考えていただきたいと思えます。まず、憲法とは何であり、何のために必要なのか。その本質は文章ではなく、その国が目指すべき社会像と、それを実現するための決めごとを定めた最高法規であることにあります。つまり、国として「こんな社会を創りたい」という根幹の思いが憲法であり、各法律は全てここに紐づいてつくられています。言い換えれば、根幹なき法律文章には何の意味もないのです。

続いて、財政とは何か。私が周囲にすすめている本の1冊に、『図説日本の財政』(財経詳報社)があります。同書は1955年以降、財務省監修のもと毎年発行されており、財政を理解し、その時代ごとの世界情勢を知ろうえではぜひ一読いただきたい。

さて、同書でも紹介されていますが、財政とは政府の経済活動の収支であり、主に、▽資源配分の調整、▽所得の再配分、▽経済の安定化——の3機能を担っています。

一つ目の社会資源の配分調整は、教育分野には財源をどれだけつけるか、環境問題、社会保障、公共工事にはそれぞれどの程度の資源を配分するのか。そういった社会における必要な財源・資源の配分を決定することです。

二つ目の所得の再配分では、財源となる税収や社会保険などの所得を、あるところからないところへと回していくことです。

そして、三つ目の経済の安定化は、財政政策といわゆる金融、日銀政策です。財務省と日本銀行が車の両輪として、経済の安定を図っています。

ここまで憲法および財政について振り返りましたが、基本的にこれらは国または自治体レベルで主導する機能・取り組みであり、国民が直接行動することでは何かを変えたりすることは難しいです。

しかし、重要なのは国民全員がそうした憲法が示す社会像や財政の仕組みを理解することであり、選挙などを通じて国の方針が目指すべき姿から違わないように取り組むことが、国民の責任であります。

SDGsは世界全体で目指すべき未来像

さて、ここでSDGsとESGに話を戻しましょう。SDGsとはまさに、国にとつての憲法のように、「こうした世界、地球を目指す」という目指すべき世界像です。

それに基づいて17のゴールなどが定められています。これは財政の機能と同様、ゴールとして示された世界の問題に対し世界全体に必要な資源をどのように配分・管理していくのかを示す、社会資源の配分調整と言えます。これもまた、最終的には国が取り組む仕事であり、実のところ企業や個人単位で達成することは困難です。

よって、企業・個人がすべきことは、SDGsが示す世界の方向性を理解し、「私もこうした世界を目指します」という気持ちを持って、実現可能な生活に取り組むことであると言えます。そして、ESGとは、そうした企業や個人が実現可能な生活・事業を継続するうえで具体的な取り組みを示すものです。

■Environment(環境)

ESGのE、つまりEnvironment(環境)ですが、私が最初に環境問題へ関心をもったのは1973年の公衆衛生学の講義で出会った、ローマクラブの報告書「成長の限界」を読んだことがきっかけでした。

日本においても公害による環境問題が取り扱われてきた歴史がありますが、「成長の限界」が取りまわっているのは、さらに大規模な地球規模の環境問題です。人類と地球の相対的関係を指摘し、半世紀前の時点で、現在世界で起こっている環境問題を予測しています。この本も私がすすめる一冊なので、機会があればぜひ読んでください。

これを読んで私は、環境問題への意識は絶対に必要だと確信し、そのうえで当時医学生であった立場から、なぜ地球上で人間だけが地球規模の環境問

題を引き起こすのかを考えました。たとえば、感染症。空気感染は同時に広範囲でまん延しやすく、パンデミックのリスクが最も高い。一方、接触感染で代表的なエイズやエボラ出血熱は、基本的に徐々に地域などで広がるもので、地球規模で同時多発的に発生する性質ではありません。これは、感染症以外の食品などを媒介とした病気も同様です。

そう考えたとき、こうした疾患が現代において世界各地に広がっているのはなぜか。これこそが、人間と地球環境が相対的な関係であるということだ。2022年11月15日、国連は世界の人口が80億人に達したと発表しました。一見、途方もない数字に見えますが、実際には細菌やウイルスも含めて、地球上で同程度存在する生物は他にもいるでしょう。

それらの生物と人間の違いは、言葉による強力な伝播力を持つていることです。言葉によって蓄積された記録が文明をつくり、歴史をつくりました。結果として、それが地球の環境を人為的に変えてしまうことにつながり、地球の自浄能力では対応しきれなくなりました。つまり、今の世界と言えます。つまり、人間の生き方そして死に方が相対的に地球環境に影響を及ぼしている。ならば、その生き方・死に方を今一度問おうでないか。これが、医療から環境問題を発信する意義である、私は考えています。

■Social(社会)

次に、SはSocial(社会)を指しますが、これに関しては医療そのものがソーシャルであります。日本医師会

会長、世界医師会会長を務められた武見太郎先生は、「医療とは医学の社会的適用である」という言葉を残しています。

医療は、社会とのつながりが基本にあり、患者さんの立場に立った医療を考えた際、それを「私」の健康を支えてくれることであると、私は定義しています。

■Governance(ガバナンス)

そして、最後のGovernance(ガバナンス)ですが、私は一言、「自律」という言葉を用いています。自らを律する力を持つていれば、日常において何を守り、何を変えなければならぬかはおのずと見えてくるというものだと思います。また、情報が氾濫する現代社会においての取捨選択なども含まれるでしょう。これは、当法人における職員教育でも重視しています。

以上が、私の考えるSDGsでありESGです。地球環境問題とは、温暖化や資源などの問題だけではなく、その根幹にある人間の生き方であり死に方であるということを、皆様にもご理解いただければと思います。

職員教育の継続が地域との関係をつくる

1986年、私は河北医療財団の理念として、「社会文化を背景とし地球環境と調和した よりよい医療への挑戦」と定めました。

先述のとおり、地球環境問題とは人の生き方を問うことであり、理念の「地球環境と調和した」には、人間の尊厳を守り、その人らしく生き

て死んでいくための医療を提供するという思いを託しています。

本来、医療人は「あなたはどうな人ですか」と相手を知るところから始まり、その人らしく生活することを支え、その人らしく亡くなるまで看取り、さらにその後ご家族のケアまで責任をもつて寄り添うべきであると、私は考えています。最後に、この理念のもと私や当財団で行ってきた具体的な取り組みを、一部ご紹介いたします。

一番代表的な取り組みとしては、やはり職員の教育でしょう。当財団では毎年環境プロモーターを育成し、財団の環境改善計画書をもとに1年にわたって各部署での環境プログラムを設定し環境活動に取り組んでいます。

そのなかでは、外部研修のほか、年1回の環境内部監査、特定非営利活動法人KES環境機構策定の環境マネジメント規格による外部審査なども実施し、医療機関が環境問題に取り組む重要性を繰り返し周知しております。

こうして職員一人ひとりが環境問題への意識を持ち、それぞれが地域に持ち帰って家族や友人、さらにその周辺へと広げていくことが大切です。地域社会と関係をつくる。これこそがパブリックリレーションズであり、医療機関が取り組まなければならないことだと考えています。

先ほど申し上げたとおり、私たちが担う医療はソーシャルです。患者さん一人ひとりのその人らしい生き方を問い、寄り添って、それがひいては地球環境へかかわっていく。そのような気持ちを持つことが、これからの医療人に求められる姿勢ではないでしょうか。

警視庁サイバーセキュリティ対策本部対策第二担当
 ☎03-3581-4321(内線7861-2231から2235)午前9時~午後5時
 ※不正アクセスなど明らかにサイバー犯罪の被害に遭った場合は、事件担当となる、【サイバー犯罪対策課サイバー犯罪に係る電話相談窓口】へ

新連載 コラム サイバーセキュリティ対策最新報告 第1回「Webサイト改ざんへの対策」

1: Web サイト改ざんの現状

Web サイト改ざんとは、管理者以外の第三者が不正に Web サイトを操作して、別の情報に書き換えることを指します。JPCERT コーディネーションセンターによると、2022 年第三四半期までの報告件数は1955件。前年同期比で約76%増加しています。東京都内の医療関係施設でも Web サイト改ざんの事案が発生していますので、今回はその手口と対策について触れていきます。

2: 改ざんの主な手口

- (1) 管理者アカウントを乗っ取る手口
 メール攻撃によるマルウェア感染のほか、人為的ミスや悪意のある関係者によって流出した管理者アカウント情報を入手した後、管理者になりすましてログインし、改ざんする。
- (2) 脆弱性を狙う手口
 Web アプリケーションの脆弱性を突き、データを改ざんする「SQL インジェクション」のほか、Web サーバの OS、CMS (コンテンツマネジ

メントシステム)等のシステムの脆弱性を狙って改ざんする。

3: 取り組むべき防止策

- (1) 脆弱性を放置しない
 Web サイトの運用に使用している CMS に脆弱性がないか、常に確認するとともに、バージョンを最新状態に保ち、OS やセキュリティソフトのアップデートを必ず実施する。
- (2) 管理ページへのアクセス権限を厳格化する
 Web サイトの管理ページへアクセスできる IP アドレスやデバイスを制限し、管理者アカウントのパスワードはポリシーを定めて厳格に管理する。
- (3) SQL インジェクション対策
 脆弱性のあるサイトは、意図しない命令文が挿入され、患者情報の消滅や漏えいにつながるリスクがあるので、攻撃者が作成する命令文を無効化するための対策を講じる。
- (4) WAF の導入
 Web アプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃から Web サイトを保護することができる、

WAF (ウェブアプリケーションファイアウォール)の導入を検討する。

4: 終わりに

Web サイトが改ざんされると、適切な情報提供ができなくなるだけでなく、特に、SQL インジェクション等の被害に遭うと、患者の個人情報漏えいなどの対応に追われることとなり、医療機関としての正常な機能が停止してしまいます。そこで、本会報 2022 年 9 月号でも紹介しました、インターネット接続機器の脆弱性を調べるツール「Shodan」を、再度ご説明します。「Shodan」はインターネット側から病院の Web サイトにアクセスした際に得られる情報を集積しているシステムで、IP アドレスを入力すると、不要なポート・サービスが公開されていないか、脆弱性のある機器を使用していないかを調べることができます。インターネット上において一定回数までは無料で利用できますので、ぜひご利用ください。

インタビュー 第17回東京都病院学会

自院にとっての「業務改善」 その方向性を考える機会に

第17回東京都病院学会学会長 進藤 晃

「業務改善」に対する
考え方は人によって異なる

2023年2月26日開催の「第17回東京都病院学会」は、アルカディア市ヶ谷での完全会場開催となりました。参加者が一堂に会するのは実に5年ぶりと言えます。

そんな今大会の主題は、「コロナ後だから必要な医療の質管理」標準化・効率化で行う業務改善」とさせていただけました。11月現在、すでに一般演題への応募は135題に上っており、医療の質管理や業務改善が、会員病院においても関心の高いテーマであるという手ごたえを感じています。



進藤 晃

このことを、改めて認識しました。質を評価するのは受診者本人であり、その要求事項を満たすことである、という概念で一致していない。技術・環境・接遇が良いことと理解されている場合が多い。技術・環境・接遇は当然よくあるべきです。その上で顧客満足を得るのが質です。質の向上のためには業務改善が必要となります。

業務改善の現状の傾向を大まかに分けると、「業務の効率化を追求する」という意味と、「安心安全のため接遇や環境を変える」という意味の、主に2通りで「業務改善」という言葉が使われている印象です。

実のところ、これについてはどちらも行うべきであり、病院経営においても着手すべき重要な取り組みであるのは間違いありません。特に、今回のテーマである「医療の質管理」の観点から見ると、業務効率は上げたほうが良いですし、安全な環境や接遇が整っているほうが患者さんの満足度は高くなるでしょう。とはいえ、今回のような学びの場や、実際に院内で業務改善活動に取り組み際に、当事者間で「業務改善」に対する認識の齟齬があるとコミュニケーションに支障をきたすと思われま

そのため、演題を発表する側も、聞く側も、「質概念であるお客様満足度を上げるために、自分が今話したい(聞きたい)のはどちらの「業務改善」なのか」を、あらかじめ整理しておくことをおすすめします。どちらも取り組むべきだが、差し当たって自院や部門で求められているのはどちらであるか。これを踏まえておくと、より実りのある学会参加になると考えます。

一方で、どちらの業務改善活動にも共通するのは、取り組む際に自分たちのこれまでの業務を必ず一度は見直すことです。そのときに注意したいのが、最初から労力が多くなるような大幅な改善から着手すると、途中で頓挫してしまいがちである点です。

たとえば、接遇の改善をしようとした際に、最初から「目が合ったら必ず立ち止まって、最敬礼すること」などとすると、多忙な現場ではなかなか全員が徹底しづらく、そのうち取り組み

自体が風化してしまいます。逆に、「目が合ったら挨拶しましょう」くらいであれば、継続しやすいかもしれません。このように自院でできる範囲を見定め、それが定着したら次の段階に進む。そのようなサイクルを回していくのが重要です。本大会から、自院にとっての業務改善のあり方を考えるヒントが得られれば幸いです。

医療の質管理に関する 専門家たちの講演は必見

私が質管理という考え方に出会ったのは、自院を承継した際に抱えていた病院の経営課題を解決し、地域や社会にとって必要な病院になるために試行錯誤していたときでした。そこから、どのように現在まで取り組んできたのか。学会長講演では、こうした当院の体験談をお話しする予定です。

さらに、今年の学会企画では、医療の質管理・業務改善に対して、それ

受章御祝



令和4年秋の叙勲にて、当協会の山田雄飛常任理事(医療法人社団薫風会 山田病院 理事長・院長)が、長年に渡る地域医療への貢献と保健衛生の向上への功績が認められ、東京都病院協会の推薦により「瑞宝小綬章」を受章されました。

心よりお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご健勝と一層のご活躍を祈念いたします。

東京都病院協会
会長 猪口正孝

東京きらぼしフィナンシャルグループ
きらぼし銀行

東京の地域医療を支える

病院を応援します。



医療・福祉事業部 〒107-0062 東京都港区南青山3-10-43 TEL.03-6447-5770 URL.http://www.kiraboshibank.co.jp

photo: © mapo - stock.adobe.com

第17回東京都病院学会

開催まであと90日!

■主 題：コロナ後だから必要な医療の質管理
～標準化・効率化で行う業務改善～

■学会長：進藤 晃 (大久野病院 理事長)

■日 時：2023年2月26日(日) 午前9時30分～午後5時

■会 場：アルカディア市ヶ谷(JR市ヶ谷駅徒歩2分)

■応募方法：URL: tha.or.jp/gakkai/info/17th.html

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催方法の変更等の可能性があります。

私の医道

自見 庄三郎

元金融・郵政大臣、医師

2011年3月11日の午後は、予算委員会が開かれていた。私は郵政改革担当大臣・内閣府特命大臣(金融)として出席していたが、突然、天井の大きなシャンデリアが大きく揺れだしたことを今でも鮮明に覚えている。

第25回

東日本大震災に金融大臣として臨む

私は首都直下型地震が来たかと身構えたが、左後ろにいた連舫・内閣府特命担当大臣(行政刷新担当、消費者及び食品安全担当)が「東北地方で地震だ」と声を上げた。予算委員会は休憩となり、私はすぐに車で金融庁に戻ったが、既にエレベーターは止まっているので、大臣室のある17階まで階段で駆け上がった。相当揺れたらしく、職員は皆、青い顔をしていた。しばらくすると内閣から「東北地方太平洋沖地震緊急災害対策本部会議」を開くとの連絡が入った。17人の閣僚全員が本部長となる異例の会議体であ

ぞれの分野・立場から寄与されてきた3人のゲストをお呼びしています。一人目は、早稲田大学創造理工学部経営システム工学科の棟近雅彦教授です。医療機関における総合的品質管理(TQM)、品質管理システム(QMS)の提案および普及活動に長年努めてこられた方で、今年10月にはその実績が評価され、「デミング賞」(日本科学技術連盟が制定する、TQMの研究等で優れた成果を上げた企業・個人を表彰する賞)で本賞を受賞されました。二人目は、東京大学総括プロジェクト機構サービスエクセレンス総括寄付

講座の水流聡子特任教授です。通常のパスは医療プロセスを時間軸に沿って可視化しているクリニカルパスに対し、患者の状態をユニット化し組み合わせたことで、患者ごとの必要な医療プロセスを可視化する「患者状態適応型パス」についてお話いただきました。棟近先生も水流先生も、当院も参加している「QMS-H研究会」の副代表を務めておられ、長年、医療の質管理の研究・普及に向けた検討にご一緒させていただいた専門家です。なお、当日は会場開催を活かし、両名の講演内容に関連する機器展示も行う予定です。

る。鉄道は動かず、本州の真ん中あたりを走る高速道路は機能を維持していたが、そこから東へ延びる道路は寸断され、陸路から支援物資を運ぶことも難しかった。これほどの大きな災害に対応できるのは自衛隊しかなく、ほどなく派遣が決定した。まさに国家の危機である。

金融上の措置を適切に講じるよう、金融機関には繰り返し要請した。通帳や印鑑を紛失した場合の預金の払い戻し、支払いができない手形・小切手の不渡り処分、貸出の返済猶予、生命保険や損害保険の迅速な支払いなど、課題はいくらでもあった。白川方明・日本銀行総裁と相談して11日夕方には1回目の要請を出していた。

金融庁に戻った私は幹部を集めて「俺が全部責任をとる」と宣言し、次々に金融上の措置を指示した。津波で通帳を流され失くした人でも、申告すれば10万円までは出金できるという非常措置を決定したこともその一つだ。

私の念頭にあったのは、「とにかく人の命を救うこと」だった。国家の危機には金融パニックが起きやすくなる。逆に、家を流され、身内を失っても、「お金は何とかなる」と思えば、何とか持ちこたえて一息つけるし、社会も安定するものだ。

この時の一連の過程は、専門誌『金融ジャーナル』(11年10月号)に寄稿して記録として残している。こうした記録を残すと責任問題に発展することがあるので、避けたがる人が多いが、教訓として後世に役立ててほしいと考えたのだ。また発災直後から、被災者に対して

数年後、自民・公明政権のもとで復興大臣に就いた根本匠先生は、私が金融担当大臣だったことを知ると、「復興の時、金融だけは本当に何も問題がありませんでした」と言ってくれた。金融政策、そして政治家の役割がいかに重要かを認識できる出来事だったと思う。

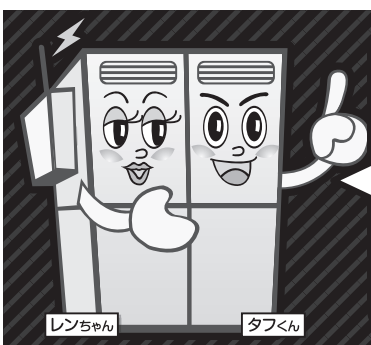
すので、ご期待ください。そして、三人目が、株式会社麻生飯塚病院の福村文雄特任副院長です。同院はもともと株式会社立という背景もあって、日本の医療界にTQMといった考え方が流入するよりも以前から組織ぐるみの品質管理に取り組みされてきた歴史があります。こうした実績が評価され、同院も今年、「デミング賞」を受賞されています。アカデミックな見地から実際の現場でのケーススタディまで、お三方の講演を通じて多角的な学びにつなげていただければと思います。

知らずに実践している 質管理に気づきにつなげよう

私は実のところ、病院で働いている人の大半は日常業務において、何かしら個人レベルでの質管理や業務改善に資する行動を取っていると考えています。その行動が業務改善であると自覚していなかったり、個人レベルにとどまったりしているため、病院全体としての質管理・業務改善に結びついていないのかもしれない。

院内の一部の人が良い取り組みをしていたとしても、それが病院全体の取り組みとして合しなれば一過性のもので終わってしまい、せっかくの質管理のチャンスを失います。

病院経営者の皆様においては、ぜひそうした自院の職員の行動や提案に気づき、拾い上げて病院全体の活動へと取りまとめたいと思います。それが自院の医療の質管理に寄与して、良い病院をつくり、良い病院が増えていけば、ひいては日本の医療全体がよりよい形になることを期待しています。



お湯のことなら レンタフマルチに すべておまかせ!

レンタル給湯器を24時間365日遠隔監視!
機器故障・経年時は原則無償で修理・取替!
お湯切れ防止・管理手間解消のサービスです!

詳しくはWebで!

レンタフマルチ



エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

お問い合わせ

東京ガス株式会社
公益営業部

☎03-5443-4195

✉kouekia@tokyo-gas.co.jp